

CAMPUS 八戸学院

vol.66

県南初の小学校教員養成施設誕生

留学生の支援について





玉川大学と連携協定締結 県南初の小学校教員養成施設誕生

八戸学院大学は、玉川大学（東京）と連携協定を締結し、小学校教諭二種免許状が取得できる特別プログラムを2024年度から開設します。

同プログラムでは、健康医療学部人間健康学科の中・高一種教員免許状（保健体育）を3年次時点で取得見込みである学生を対象に、玉川大学の通信課程の科目等履修生として2年間で必要な単位を取得することで小学校教諭二種免許状が取得できます。

青森県内では、小学校の教員不足が問題になっており、県南地域初の小学校教員養成施設として問題解消に取り組めます。

CONTENTS

- 3 玉川大学と連携協定締結
県南初の小学校教員養成施設誕生
- 4 八戸学院春物語
- 6 研究室訪問
「情報」を考える
- 8 留学生の支援について
- 10 課外活動File
- 12 八戸学院 TOPICS
- 14 ステラが行く
- 15 ステラ・フォーカス
- 16 同窓生の広場
- 17 職員ファイル
- 18 理事長散策

CAMPUS 八戸学院

vol.66



表紙

八戸学院大学健康医療学部看護学科2年生68名による宣誓式が行われました。4年ぶりに行われた式典には保護者も参加。学生たちは、それぞれのろうそくに明かりを灯し「宣誓の詞」を斉唱して、看護の道を歩む決意を新たにしました。

建学の精神

「神を敬し、人を愛する」

カトリックの精神に則る道徳教育を施し、高尚な人格の完成を期し、現代社会が要請する有為の人材を育成することをもって目的とする。（寄附行為 第3条）

大学 広西城市職業大学と連携協定を締結



オンラインで行われた連携協定締結式の様子

八戸学院大学では、広西城市職業大学（中国）との連携協定を締結しました。

広西城市職業大学は2005年に設立され、中国に設置された最初の四年制職業技術大学です。在学者数は3万人で、日本語、ロボット技術や国際貿易、幼児教育などの23学科があります。

今後、さまざまな分野において相互の友好を深め、学術交流等を促進します。

- 八戸学院大学
TEL 0178-25-2711
- 八戸学院大学短期大学部
TEL 0178-25-4411
- 八戸学院地域連携研究センター
TEL 0178-25-2789
- 八戸学院図書館
TEL 0178-30-1695
- 八戸学院光星高等学校
TEL 0178-33-4151
- 八戸学院野辺地西高等学校
TEL 0175-64-4166
- 八戸学院幼稚園
TEL 0178-34-5765
- 八戸学院聖アンナ幼稚園
TEL 0178-45-3670
- 八戸学院第二しのめ幼稚園
TEL 0178-25-2488

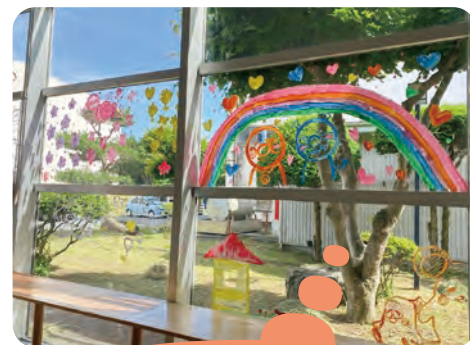
<https://kosei.hachinohe-u.ac.jp/>



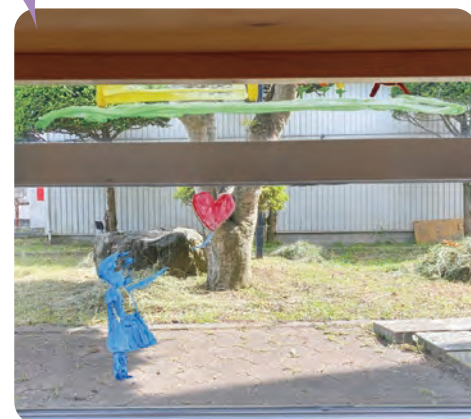
「表現Ⅰ」の講義内で
幼児保育学科棟学生ホールの窓ガラスに、
アクリル絵の具で窓に直接、
絵を描きました。



「環境を通した造形活動」というテーマを発展させ
自分たちの生活の場を生かした造形活動を行いました。



作品が環境にあたえる彩りや、
作品があることで得られる達成感、
安心感など、子どもに与える
影響についても考察しました。



「八戸学院春物語」

八戸学院第二しのみめ幼稚園
じゃがいも・さつまいも大きくなあれ!



幼稚園の向かいの畑に
じゃがいもとさつまいもの
苗を植えました。
秋の収穫が今から楽しみ。



八戸学院聖アンナ幼稚園
園外保育で新井田公園へ



年長組は歩いて公園へ。
展望台に登ったり、
石の遊具で元気いっぱい
遊びました。



八戸学院幼稚園
つくし・つぼみ組 光星高校へお散歩



高校の広い中庭で、
たんぼを探したり、
元気に走ったり、
楽しい一日に
なりました。



八戸学院大学学友会・短期大学部学生会主催
BBQ交流会2023

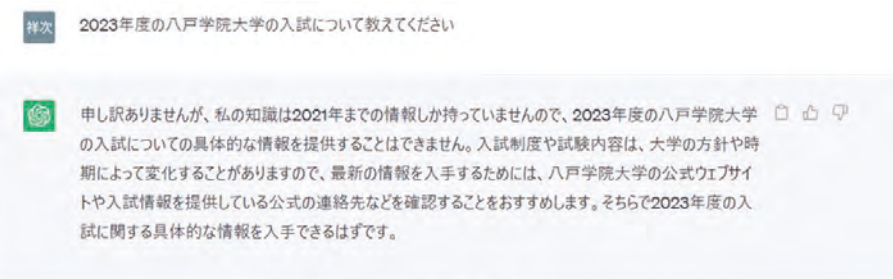


美味しいお肉を食べながら、
大学・短大のわくを越えて
交流しました。



新しいものは、費用も多額になります。そして、新しいものを利用し始めるようになると、今利用しているものを使わなくなります。しかしまだまだ利用できるもので安く利用できるはずです。私は、そのまだまだ利用できるメディアを組み替えて上手に利用するための技術やソフトウェアなどを作成することを研究しています。例えば、ご存じの方も多いと思いますが、私の検証ではプレステーション4のハードディスク（HDD）をSSD（半導体ドライブ）に変更すると、起動時間が26秒早くなりました。15年ほど前のノートパソコンもSSDに変更すると遅くてイライラしたパソコンが普通に利用できるようになります。SSDは1万円ぐらいですので、新しいパソコンを購入しなくても数年は使い続けることができます。

現在は、顔認証の出席システムの開発をゼミの学生と一緒に研究しています。オープンソースを利用して作成していきたいと思っています。実は顔認証の出席システムはすでに販売されています。しかし、価格は数百万にもおよびます。これでは、大規模大学でなくては簡単に導入できません。それを安価に構築できれば大学や高校の役に立てるでしょう。また、メディアは情報を伝達するツールです。メディアは私たちの生活や社会に大きな影響を与えます。いま話題の生成対話型AIはどうでしょうか。AIがなんでも答えてくれたり、プログラムまで作成してくれたりもします。OpenAI社の「ChatGPT」やGoogle社の「BARDD」などです。利用してい



【ChatGPTに入力した画面】

BARDDの方も間違った内容が表示されました。英語で質問するのと日本語で質問するのでは正確性が違います。しかし、質問に答えてくれたり、文章を作成してくれるのは便利です。私の利用方法のお勧めは、AIからの回答は、ヒントとして捉えることです。回答が正しいと思うのは危険なので、ヒントとして捉えてそれを基に自分でもう一度考えたり調べてみたりするのがいいと思います。このAIの出現はこれからの社会を変えていくと思います。私は、コンピュータ機器やインターネットだけでなく、立体的な広告など多くのメディアを活用して社会に貢献できるアイデアや技術を研究していきたいと思っています。

3. 地域貢献について

私は、地域貢献の一環として15年ほど前から講演活動をさせていたっています。携帯電話が広く普及し始めたところから、高齢者向けの携帯電話教室を始めたのをきっかけに今は、「SNSやインターネットの利用とその注意について」をテーマに、年間3回〜4回三八上北地域や岩手県北の学校で講演をさせていたっています。15年ほど前は、いかに子供に携帯電話を与えないか、インターネットの利用を規制するかが社会的風潮でしたが、私はそのころから正しい使い方を教える方がいいと思います。講演でもお話しさせていただいています。利用にルールを作ることは今でも変わりません。最近では、子供たちの利用時間が長いことやネットやスマホ依存の方が問題になっています。ウイルスなどを防ぐことも必



講演の様子

要ですが、これからは、電子マネーやクレジットカード社会への変革によって、お金の使い方や価値などを教える必要が出てきます。「ビット」とカードやスマホを読み取ると買物ができると思っています。小さな子供たちが増えています。これも含めて今後の講演活動で地域に貢献していければと思っています。

最後に、今後もメディアの活用方法を研究して、より地域に貢献できるように微力ながら努力していきたいと思っています。

「情報」を考える ～ メディア活用の研究について ～

1. 情報とは

情報とよく言いますが、何をイメージされるでしょうか。情報と聞くとコンピュータをイメージされる方が多いと思います。確かに現在はそのように使われていることが多いですが、「情報」を辞書で引いてみると「あることがらについてのしらせ」「ある事柄に関して伝達（入手）されるデータ（内容）」と記載されています。すごく抽象的ですが、具体的には私たちが、「見るもの」「聞くもの」「匂い」「触れて感じる」「味で感じる」つまり人間の五感はすべて情報といえます。情報は英語で「information」と訳されます。情報は、知りえたことだけではなく、そこに「価値」や「意味」を見出したものとされています。例えば時間や貨幣はそれにあたります。貨幣は紀元前6世紀ごろ開発されたといわれています。今は電子マネーですね。物の価値を知るために貨幣や時間は重要です。洞窟の絵などは言葉が開発される前にコミュニケーションの道具として利用されたものでしょう。私たちの生活の中で「情



八戸学院大学

地域経営学部 准教授

馬場 祥次

東北電子計算機専門学校 上級情報工学科

2006年 八戸学院短期大学(現：八戸学院大学短期大学部)ライフデザイン学科に勤務

2019年 八戸学院大学地域経営学部地域経営学科に勤務

専門分野 情報学
担当科目 情報処理基礎、情報処理、情報処理法、インターネット、プログラミング
キャリアデザインⅢ、キャリアデザインⅣ

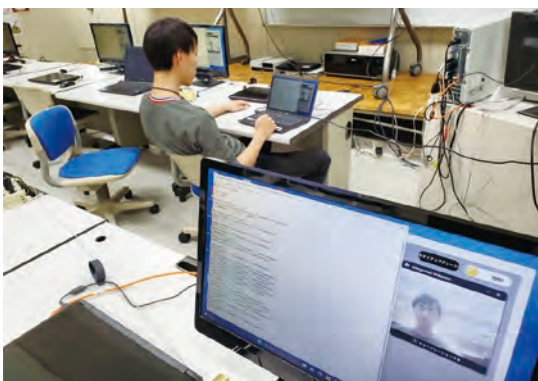
報」はなくてはならないものです。皆さんも身の回りの情報をもう一度考えてみてはいかがでしょうか。

2. メディア活用の研究について

私の研究テーマは、「メディア活用の研究」です。メディアとはなんでしょうか。メディアとは、情報を伝達するための手段や媒体のことを指します。これには、新聞や雑誌、テレビやラジオ、インターネットやソーシャルメディアなどが含まれます。

メディアは、情報を届けるだけでなく、社会的な役割も果たしています。情報の発信者としての役割に加えて、意見や考え、文化、エンターテインメントの提供、伝達など、様々な目的を持っています。メディアは、情報の受け手や利用者にとって重要な存在となっていて、私たちの生活の中でなくてはならないものです。

私は、このメディアをどのように利用し活用すると効率的になるかを研究材料としています。具体的には、様々な機



顔認証による出席システム開発の様子

器、ソフトウェア、技術など、現在利用されているものを効率的に利用することを検討しています。現代社会では次々に新しい技術や機器、ソフトウェアなどが開発され利用され始めています。それは非常に価値のあるものです。しかし私たちが利用し広く普及するにはかなり時間がかかります。

留学生サポート（八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部国際交流・留学生支援委員会）

国際交流・留学生支援委員会を中心に留学生の情報共有および、留学生への働きかけを行っています。
留学生の日本語能力に応じて、日本語学習の時間をクラス分けして支援するなど、きめ細かい対応を心掛けています。

日本語リテラシー

日本語で適切に表現する能力と伝えあう力を高める講義です。「読む」「書く」「話す」の3領域について、演習問題や新聞コラム等を活用して自分の考えを的確な文章や言葉で表現できる思考力を伸ばします。



八戸学院大学健康医療学部看護学科3年
程 佳萌（テイ カホウ）さん



看護の勉強は中国の学校で学んできましたが、日本語に置き換えて理解しなければならず、分からない言葉は講義後に友達から聞くなどして復習しています。

9月から病院実習が始まります。専門的な知識を求められる実習なので対応できるよう頑張りたいです。

八戸学院大学短期大学部介護福祉学科1年
Rizela Eva（リゼラ エファ）さん



講義以外の空き時間は、介護施設でバイトをしています。講義で学んだ事を実践でき、また、現場で多くのことを学ぶことができます。

将来は、介護福祉士の仕事をしながら、看護師の国家資格にも挑戦したいです。

留学生の支援について

現在、八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部には14名の留学生が在籍しています。
留学生のサポートについて紹介します。



学校法人光星学院国際教育局

国際教育局は、学本法人の国際交流の推進に寄与することを目的としており、外国人留学生の受け入れや、国際交流・異文化理解に関する取組みを内外に発信しています。

異文化理解



キャンパスでの学びの時間以外に、異文化理解を深めるため、地域との交流の機会を設けています。

八戸学院光星高等学校 ゴルフ部



八戸学院光星高等学校ゴルフ部は、創部2年目と若い部活ですが、全国高等学校ゴルフ選手権出場を果たすなど注目の部活です。地域の方々の協力により活動が行われており、とても恵まれた環境でラウンド練習と打球練習をすることができています。「地域の方々への感謝の気持ちを忘れず活動したいです。」と主将の横山元気さん（普通科進学コース2年）。江口琴遙さん（普通科進学コース2年）は「ラウンド練習で自分の状態を確認し、その後の打球練習で、ラウンドでの反省箇所の修正を行います。一打、一打を無駄にせず取り組みたいです。」

目標は、全国大会出場。全国に八戸学院光星高等学校の名を広めることで地域への恩返しを目指します。



八戸学院大学 陸上競技部



八戸学院大学陸上競技部は、種目ごとにリーダー学生が練習メニューを作成しています。キャプテンの加美正剛さん（人間健康学科3年）は「リーダー学生から事前に練習メニューの連絡が来るため、それぞれが目標を持って練習に臨むことができるので、質の高い練習を行うことができます。」陸上日本選手権男子1000mに出場し、7位入賞を果たした灰玉平佑吾さん（人間健康学科3年）は「一見、短距離走は単純な動作の繰り返しに見えますが、考えて走らないと速くはなりません。練習方法等を試行錯誤して成果が出たときの喜びは格別です。」

日本学生選手権（インカレ）出場を合言葉に、陸上競技部の挑戦は続きます。



光星高 4年ぶりの対面式[4/11]

4年ぶりとなる対面式が本校体育館で行われました。対面式は新入生が上級年次と初めて顔を合わせる行事となります。

上級生の拍手に迎えられ、体育館へ入場する新入生（336名）の表情は心なしか緊張していました。式では新入生を代表して清水香那さんが「不安はあるが、先輩方が築きあげた伝統を引き継ぎながら日々努力したい」と挨拶をしました。また、生徒会長の佐々木凜君から「これからの高校生活で規範意識を養い光星高校の生徒としての誇りを持って生活して欲しい」と、歓迎と激励の言葉がありました。久しぶりに全校生徒（921名）が体育館に整列する姿はまさに「圧巻」でした。



光星高 初の全国大会で5位入賞～第50回記念全国高等学校選抜卓球大会～



3月24～27日（金～月）に愛知県豊田市にて「第50回記念全国高等学校選抜卓球大会」が開催され、本校卓球部の中里姫乃さんが青森県代表として出場しました。混戦が予想された予選リーグを全勝で勝ち抜き、決勝トーナメントが進むにつれて調子を上げ、見事第5位入賞を果たしました。

中里さんは「初の全国大会でいつも以上に緊張しましたが、思いきりプレーをすることが出来ました。この大会を通して自分の技術面で足りない所が分かったので、それを克服出来るように日々、練習に励みたいと思います」と語ってくれました。

光星高 高校生が大学の講義を体験～2023年度高大連携事業～

高大連携事業は、系列の高校生を対象に大学・短期大学部の講義を体験することで、多様な学問領域について興味関心を持つことを目的に2018年度からスタートしました。

今年度は、本校の2年普通科進学コースITビジネス系と国際教養系の生徒27名が、大学生と一緒に海外事情（中国文化／韓国文化）を受講します。



野西高 地域の環境整備をお手伝い



1年生は野辺地ロータリークラブの方々と一緒に花植えを行いました



2年生は近くの運動公園のゴミ拾いを行いました

大学 看護学科宣誓式[5/13]

八戸学院大学健康医療学部看護学科の2年生68名が宣誓式を行いました。宣誓式は、近代看護の基礎を築いたとされるフローレンス・ナイチンゲールの誕生日に当たる5月12日の「看護の日」に合わせ開催しています。ろうそくに明かりを灯し、全員で「宣誓の詞」を斉唱しました。宣誓者代表の辻井里奈さんは「学ぶことができる喜びを噛みしめながら日々研さんし、患者の苦痛に気が付けるような感性を身に付けたい」と語りました。

式典後にはエンゼルメイク研究会代表の小林光恵氏による特別記念講演が行われました。



大学 強化指定部壮行式[4/7]



壮行式には部員や指導者400人が参加しました

八戸学院大学では強化指定部壮行会が開催され、今年度、認定された12団体に認定証が手渡されました。

壮行式で法官スポーツ局長から「試合に勝つために技術はもちろん、精神の鍛錬も必要。4年間でスポーツを通して感動を与えるようなパフォーマンスができる選手になってほしい」と挨拶があり、水野学長は「大学スポーツの手本となるよう頑張ってもらいたい」とエールを送りました。

強化指定部を代表し、男子サッカー部の高山理久主将（人間健康3年）が「部活動や勉強、地域貢献活動にも全力取り組みたい」と決意を述べました。

短大 電話のかけ方講座開催

実習等の事前指導の一環として、offre M'sの田原美晴氏による「電話のかけ方指導」が行われ、幼児保育学科の1年生が受講しました。

講義では、丁寧な言葉遣いや、電話対応のポイントなどを学び、発声練習を行った後、2人1組で応対例を参考に練習を行いました。



大学 短大 はしかみ臥牛山まつりに参加[5/21]



来場者は足を止め、学生のパフォーマンスを楽しんでいました

階上町交流の森広場で開催された「はしかみ臥牛山まつり」に短期大学部の坂本ゼミ＆シングソングワイヤー（合唱同好会）と大学の軽音楽部が参加しました。

八戸学院幼稚園

楽しかったよ！「中庭コンサート」

春の日差しが心地よく感じられる4月の屋下がり、八戸学院光星高校吹奏楽部による中庭コンサートにお招きいただきました。

昨年に引き続き2回目となる今回は、年少から年長までの園児約90名が先生とともに散歩を兼ねてうかがいました。

オープニングからテンポのよい素晴らしい演奏で、園児たちは曲を聞きながら笑顔いっぱいの様子でした。また中には高校生が手拍子をしたり踊っている姿を見て、自分も一緒に！とノリノリのお友だちもいました。

これからも天気の良い日には、教育クラスの子

どもたちのほか保育クラスのベビーカーのお友だちも高校の中庭にお邪魔しますので、見かけたら遠慮せずに声を掛けてくださいね～。



八戸学院聖アンナ幼稚園

お花見に行ったよ

毎年4月に、聖アンナ幼稚園では、大型バスに乗って短期大学の芝生へお花見に出かけます。



芝生に到着すると、満開の桜が子どもたちを迎えてくれました。桜だけでなくタンポポやスミレの花、テントウムシなど小さな春がいっぱい！落ち葉や木の実、風で落ちた小さな木の枝なども夢中になって拾い集め、幼稚園に持ち帰って乾かし押し花にしました。

テープの上に押し花や葉っぱを置いて春を閉じ込めた壁飾りの制作。「桜はどこにおこうかな？」と悩みながら思い思いに貼っていき、個性豊かな作品がたくさん仕上がりました。

作品を見た子どもはにっこり笑顔！幼稚園生活の中で、四季の移ろいや自然を美しいと思う心を大切に過ごしていきたいと思います。



八戸学院第二しののめ幼稚園

親子ガーデニング

今年1回目の参観日は、「親子で草花や植物の世話をすることを目的に親子ガーデニング(寄せ植え)を行いました。」



「水やりや枯れた花を摘み取ったりして、丁寧に育てることで心の成長にも繋がります」と園長先生は話していました。

寄せ植えの説明後、あらかじめ選んでいた鉢に、親子で協力しながら、花を植え「きれいに咲いてね」と水をやりました。

寄せ植えをしたものは家に持ち帰りお世話をしています。「虫がいたよ」「元気がなかったの」と毎日の様子を教えてくれます。

お花の生長と子どもたちの心の成長にたくさんのお花を咲かせてほしいと思います。



八戸学院3幼稚園
マスコットキャラ
ステラが行く
vol.17

八戸学院3幼稚園 園長メッセージ



八戸学院幼稚園
園長
杉山 幸子

「子どもの笑顔から元気をもらおう」とはよく聴く言葉ですが、園長として幼稚園に通うようになってから日々実感しているところです。笑顔でなくても、登園時に「ママがいいー！」と泣いて訴える姿も、お友だちと「○○ちゃん、ずるい」「ずるくないよ」と言い合っている姿もそれぞれ子どものもつ力と成長を感じさせてくれてまぶしいほどのです。

また、若手の教員のほとんどを短大で教えていたため、彼らが「先生」として子どもと関わっている姿にも、一教員として大いに勇気づけられ、今は私が授業の参考にもさせてもらっています。

本園では最近、特に1・2歳児の入園が増えていきます。保護者が下のお子さんを産まれ、その子も幼稚園に預けてくださることが多く、感謝でいっぱいです。短大の学長と兼務であるために園にいられる時間は短いですが、その利点を活かし、さまざまな面で幼稚園と短大との連携を深め、保育と教育の質の向上に努めたいと思います。



八戸学院聖アンナ幼稚園
園長
山西 幸子

新年度の幼稚園はとても賑やかです。新入園児が涙を流していると、「ママに会いたいの？」とティッシュペーパーで涙を拭いてあげる子。「ママが必ず迎えに来るよ。」と頭を撫でてくれる子。少し前まで「ママがいいー！」といって大泣きをしていたのに、いつの間にか優しく逞しく成長しています。

幼稚園の玄関で「今日は、頑張れない！」と言っている子もいます。先ずは、頑張って登園したことを認めてあげたいです。自分の気持ちを素直に言葉で伝えられる、これも成長の大きな一歩です。

元気いっぱいの子どもたちからは「園長先生、もっと早く走らなきゃだめだよ。走り方を教えてあげるよ。」などと励まされています。

子どもたちと過ごす毎日は、こんなにも感動的で魅力的です。

物事を真っ直ぐに受け止める子どもたち。その純真な心に応えるために穏やかで居心地の良い環境を整えるために信じて見守って参りたいと思います。



八戸学院第二しののめ幼稚園
園長
加藤 康子

日頃より本園の教育活動につきまわって、たくさんの方々の温かいご支援とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。

この度、八戸学院第二しののめ幼稚園の園長に就任しました。責務の重さを感じるとともに身の引き締まる思いです。子どもたちの健やかな成長を育み、幼稚園に関わるすべての方々が毎日を笑顔で過ごすことができるよう環境づくりに努めてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。幼稚園ではたくさん遊びや経験を通して多くの方々と関わり、自分で考えて進んでゆける力を育んでいます。未来を生きる子どもたちには楽しいことやうれしいことがたくさん待っていることでしょう。そして苦しいことや乗り越えなくてはならないこともやってくるかもしれません。幼児期に愛されて育ち、いつも自分が大切な存在であると思える人になるよう、人生の基礎となる幼児期をたくさんの方々の愛情で見守ってまいります。



岩手県立花北青雲高等学校
校長

小松 了 氏

八戸大学
(現八戸学院大学) 商学部
平成元年3月卒

《大学時代について》

私は、1985年(昭和60年)4月、八戸大学(現八戸学院大学)に進学いたしました。当時の八戸大学は学生数もそれほど多くはなかったため、入学式は大学の体育館で行われていました。また、強豪と言われるような部活動はほとんどなく、サークルの数も少なかったと記憶しています。

私は大学の部やサークルには所属せず、友人から誘われた八戸市子ども会育成連合会の活動に参加し、沢山の貴重な体験や、多くの方々と巡り会えたことが思い出に残っています。またそれ以外でも、沢山の友人と学食で話したり、

《教職の仕事について》

大学時代、教職課程は取っていたものの、真剣に教師になろうとは考えていませんでした。

しかし、教育実習で生徒達から「先生」と言われることに喜びを感じ、そこから教師になろうと思いました。しかし、ともに教員採用試験の勉強をしていたにもかかわらず、教員採用試験は不合格。それでも常勤講師として1年間定時制に勤務し、翌年、教員採用試験に合格。以来、

高校の教諭として勤務し、令和元年から副校長、そして令和5年4月から岩手県立花北青雲高等学校の校長として勤務しています。教師という仕事は教員免許を持った者しか出来ない仕事であり、誰でも出来るものではありません。だからこそ教師としての仕事には「やりがい」があります。現在、全国的に教員不足が問題となっています。校長となった今、この問題に真摯に向き合い、一人でも多くの学生が教師になりたいと思えるように、働き方改革に取り組んでいきたいと思っています。そして生徒・保護者・地域にとって良い学校だと言える学校づくりに全力で取り組みたいと思います。

職員 ファイル



三浦 康高

キャリア支援課
八戸学院大学自転車競技部監督

早稲田大学卒業
令和2年4月に八戸学院大学
自転車競技部外部監督に就任



高校入学と同時に自転車競技をはじめ、自転車競技の面白さにのめり込んでいきました。常に「どうしたら強くなれるのか?」ということだけを考え生活していくうちに、スポーツ科学という分野に興味をもち、スポーツ科学を学べる大学に進学したいと考えました。

大学ではスポーツ科学を専攻し、自身の競技生活に活かせるように日々のトレーニングと学校生活を過ごしました。在学当初は、保健体育の先生になりたいと考えていましたが、勉強をしていくうちに「自分が本当にやりたいのは学校の先生ではなく、トレーニング指導者だ」ということに気づき、トレーニングについて専門的に学びトレーニング指導者を目指すことにしました。

令和2年4月から八戸学院大学自転車競技部監督に就任。令和4年度には、女子個人種目において全日本学生選手権・インカレの2大会で優勝することができ、八戸学院大学の存在を大きくアピールすることができました。

今後の目標は、八戸学院大学からナショナルチーム(日本代表)に選手を送り込むことです。また、全国各地の高校生が「八戸学院大学で自転車競技をやりたい」と思ってくれるような環境を作っていきたいと思います。



2009年

全ジュニアナショナルチームとしてカナダ遠征に参加(右から5人目)初めての海外遠征で外国人のレベルの高さを実感

2013年

全日本ロードレース・カップ・湾岸クリテリウムで優勝(右)



校長室にて

《後輩へのメッセージ》

大学時代は本当に貴重で良いものです。学業はもちろん、部活動やサークル活動、そして大学生活を通じて得た友人は一生の宝物となります。4年間の学生生活で色々なことを体験し、沢山の人と出会い、自分のやりたいことを見つけてほしいと思います。日本各地で活躍する皆さんの先輩がいます。八戸学院大学で学んだこと、経験したことは貴重な財産となることでしょう。先輩の一人として、八戸学院大学の活躍と、後輩の皆さんがこれからの社会で活躍することを期待しています。



法 官 新 一
Shinichi Hogan

たくましく 心ゆたかに成長を!!

幼稚園の元気な子どもたちへ

一、おそらに おひさま にこにこと
きょうも げんきね
こんにちは こんにちは
はちのへがくいん ようちえんの
おともだち

二、おにわで おはなが よいかおり
ぶらんこ おすなば
ありがとう ありがとう
はちのへがくいん ようちえんの
おともだち

三、よいこの おねむり おほしさま
まちがい いたずら
ごめんなさい ごめんなさい
はちのへがくいん ようちえんの
おともだち



幼稚園の創設・教育に深くかわつた、中村キヤ・キセ先生の、願いが込められた園歌が、これから元気な子どもたちに歌い継がれていくことを願います。

園歌は、幼稚園の行事のたびに耳にしますが、とてもいい歌だなあとthinkいます。作詞は元理事長の中村キヤ先生、作曲はキヤ先生の妹さんの元八戸短期大学の中村キセ先生です。日常生活で大切なあいさつ、健康、感謝のこと、そして純真で心ゆたかな子どもの成長を願う思いが込められています。子どもたちが先生のテンポの良いピアノ伴奏で歌う姿に、心身の健康が感じられます。

高校生の皆さんへ(Ⅰ)

長崎の平和記念像を制作した人は、北村西望(1884年~1987年)といひます。

文化勲章を受章した北村さんは、「カタツムリの歩み」とも言われた人です。それはある朝、北村さんが、自分が制作していた平和記念像を見にいくと、足元に一匹のカタツムリがいたそうです。しばらくしてもう一度像の前に行ったとき、なんと、そのカタツムリは10メートルもある像のてっぺんに登っていたそうです。北村さんは、百歳になってこの時のことを、「たゆまざる 歩みおそろし カタツムリ」と詠い、今も島原市の玉宝寺の聖観音像の台座に書き記されています。

世間に認められるまでに、長い年月を要した北村さんにとって、カタツムリは自分を象徴する生き物に見えたのだと思います。

北村さんは、百二歳で亡くなりましたが、長生きは北村さんの目標の一つで、「私は天才でないから、人より五倍も十倍もかかるのです。いい仕事をするためには長生きをしなければならぬ」と思っていたそうです。あの平和記念像をつくるのにも4年の歳月をかけて完成させています。着実に努力をして目標に近づくためには、長生きが必要だったんですね。

晩年、北村さんはよく「決心之大成」と書いています。これは、物事を成すということは、才能ではなく、心に決めて一歩ずつ努力することが大成につながるという意味です。また、長寿は、心をきれいにすることだと言っています。

〔令和4年高校の卒業式祝辞より〕

で、お昼に起きて地球に祈りをささげる毎日を送る人だったそうです。8歳の時にお父さんを亡くして、お母さんと大変な苦勞をして育った人です。そういう彼の作品は、私たちの生き方に勇氣を与える作品だと評価されています。

私たちは、過去を恨んだり、自分の

きつと、勇氣と元氣がみなぎり、充実した高校生活になるとthinkいます。

〔令和5年高校入学式祝辞より〕

学生の皆さんへ

コロナ禍を体験した皆さんには、この困難をしつかりと受け止めて、自分

が、ある夜、机に向かって、灯火の明かりで本を読んでいると、目の前に真つ黒な大きな法師が現れたそうです。腕に自信のある藤網は、その黒法師を打ちのめそうとするが、黒法師も負けまいと打ち返し、右へ動けば右へ、左へ動くと左へと動き回り勝負はつきません。ついに根負けした藤網が、法師に向かい一礼すると、その黒法師も棒を捨てて一礼します。自分と同じ動きを繰り返すので、心を静めてよく考えてみると、それはなんと自分の影法師だったのです。

「私は自分の影に会って、初めて天地万物のわが影を知ることができた。私が手を上げれば影も手を上げるように、私が道に外れたことをすると、影も道を外す。私が腹を立てれば、影も怒りだす。私が欲望に溺れ、貪れば、その影は盗みを働く。反対に私が笑えば影も笑い返す。天地万物、善悪の影がすべて自分自身の心が影法師となって現れると知れば、悪に惹かれ、欲に溺れることはない」と藤網は悟つただそうです。

自己を見つめ、自分を知る。そして自主自立、善悪の判断ができる社会人としての自覚を願う。

〔令和4年大学・短大卒業式祝辞より〕

高校生の皆さんへ(Ⅱ)

八戸学院光星高等学校のエントランスに、「鳥は飛ばねばならぬ、人は生きねばならぬ」という、詩人坂村真民の書が掲げてあります。

坂村真民は、二十世紀に生きた詩人



光星高校のエントランスにある詩人坂村真民の書

境遇を嘆いたり、人を羨んだり、明日のことを心配したり、心が落ち着かない日を送ることがあります。そんな時に、正面校舎のエントランスに掲げている坂村真民の詩と向き合ってみて下さい。

を見失うことなく歩んでほしいと思ひ、実社会に一歩踏み出す皆さんに昔の話をしたいと思ひます。
鎌倉時代、「太平記」にも出てくる武將、青砥藤網は、たいへん清廉で質素な生活を心がけた人です。その藤網



HACHINOHE GAKUIN CAMPUS SPOT



6月のある日、八戸業務班の職員が環境整備中に卵を発見しました。数日後、再び訪れると雛が生まれていました。何の雛かを調べてみるとキジと判明。キジは、日本の国鳥で「朝キジが鳴けば雨、地震が近づけば大声で鳴く」といった予知能力があるとも言われています。雛はすくすくと成長しており、今後も巣立つまで見守っていききたいと思います。

八戸学院美保野キャンパス

